



まくべつ

秋晴れで賑わった体育の日

第三回全町マラソン大会を開催

十月十日は体育の日、この日、全国各地で、いろいろなスポーツの集いが開かれましたが、本町でも教育委員会などが主催して、第三回目の全町マラソン大会が展開されました。

大会に参加したのは町内の各小学生、中学生、高校生、一般、それにお父さん、お母さんたち約五百名。ことしは例年になく一般の参加者が多く、大会を盛りあげました。

まず、準備体操のち小学校低学年がピストルを合図に、出発点の幕別中学校グラウンドを一齐にスタートし、このあと、小学校高学年生、中学生、一般と相次いで出発しました。

走った距離は小学校低学年生の一キロから高校生、一般の十二キロまでと、それぞれ数は違いますが、参加者は秋晴れの中を力走、なかには、フラフラになりながらも最後までレースを投げずにゴールに到着、盛んな拍手をうけていました。

一方、我が子の力走ぶりをとカメラ持参のお父さん、お母さん多数が詰めかけてシャッターを切り、かつ声援風景が、あちこちで見られました。

なお、力走した数は次の通りで、上位三等までにはトロフィーに楯、二十等までには記録証を、参加者全員に記念品が贈られました。

- ▼一キロ 小学校一、二年男女、三、四年女子、四十五歳以上、お母さん
- ▼二キロ 三、四年男子、五、六年女子
- ▼三キロ 五、六年男子
- ▼四キロ 女子中学生、壮年、一般女子
- ▼八キロ 男子中学生
- ▼十二キロ 高校生、一般

報 告

10

1972



軍岡に馬鈴薯

貯蔵庫が完成

幕別町農協馬鈴薯貯蔵庫（定温倉庫）が軍岡地区に完成しました。

この倉庫は、第二次農業構造改善事業として、ことしの春に着手し、去る九月十四日に落成式をあげ、現在、続々と馬鈴薯が収容されておりま

す。
貯蔵庫の面積は千五百七十五・〇二四平方メートル（四百七十六・四五坪）、計量室兼休憩室八十九・一平方メートル（二一・九六坪）という規模、一俵六十キ詰め馬鈴薯を三万五千俵も収容することが出来ます。総工費は選別機、梱包機などを含めて八千一万二千元かかりました。

この貯蔵庫は食用馬鈴薯を定温で貯蔵し、需要に応じ消費地に安定した価格で販売することが出来るという大きな利点があり、食用馬鈴薯の生産基地として注目されつつある幕別町にとって、たいへん重要な倉庫といえます。

完成した馬鈴薯貯蔵庫

町議会を開催

定例第3回町議会を9月21、22、28の3日間開催しました。

専決した事件の承認

幕別大通りおよび西1条仲通り舗装新設工事は札幌市の日本舗道と、1900万円で契約しました。

条例の一部改正

特別工業地区建築条例、町消防委員会条例、町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例

教育委員会委員の再任

梅田敏男さんと館喜雄さんを再任しました。

一般会計補正予算

街路灯電気料、大規模てん菜推進事業その他で46,255千円を追加しました。



途別土地改良区で解散式

昭和二十九年三月十五日に認可をうけ、四月十五日に設立をみた途別土地改良区では、以来、各種の事業を遂行し、初期の目的を達成したところから、これの解散式を去る九月十四日に幕別温泉ホテルで開催しました。

昭和三十二年三月十五日に認可をうけ、四月十五日に設立をみた途別土地改良区では、以来、各種の事業を遂行し、初期の目的を達成したところから、これの解散式を去る九月十四日に幕別温泉ホテルで開催しました。

土地改良区設立以前の途別川は僅かな雨でも洪水となり、その都度大きな被害を受けるのを例としていきましたが、懸案の途別川河川改修工事が道費により着手され、この工事に力を得て土地改良実施の気運が高まり、設立のはこびになつたものです。

馬橋客土、暗きよ排水、区画整理、農道整備、頭首工の設置など順調に進め、設立当時の水田二百八十畝が三百八十四畝に、また僅か二十畝であった畠が二百九十三

に引き継ぎました。

九本種七、西田幸一、帰山茂、横山辰雄

被害額は約6億円

本町を襲った台風二十号

本町関係の よって大きな被害を受けたことが二十号台風になかっただけに、九月十六日、十よる被害状況 七日の豪雨、しかも四名の死者をを、町対策本部でまとめま も重なり、町民の皆さんも大きな部でまとめた。 ショックを受けたことと思ひます。本町では、 以下は本町関係の被害状況です。今まで台風が、国および道関係分を含めると

実に五億九千六百四十三万三千元という、大きな被害額になっています。

●人的被害

道々の欠壊によって中里地区で三名、猿別川、十勝川の増水により小中島で一名、計四名が死亡するという、いたましい被害がありました。

●住宅被害

千住で三戸、糠内で四戸、駒島で二戸の計九戸が床上浸水しました。被害を受けた家族数は三十四名。このほか、床下浸水は七戸。

●被住宅被害

全壊一戸、半壊一戸の計二戸、被害額は百九十一万円。

●農業被害

町内千二百二十三戸の農家のうち二百八十六戸が十%から七十%の被害をうけました。被害面積は二千九百三拾、被害金額は九千五百二十二万一千円。

●畜産被害

軽種馬二頭千九百六十万円のほか相川一頭、新川一頭の計二頭の被害金額八十五万円、他に西糠内で綿羊一頭二十万円の被害。

●土木被害

道路五十六カ所三千万円、橋梁

八カ所千六百万円の被害を受けました。

●その他の被害

明渠排水路一万円、被害額は四千万円。頭首工および排水路は一千万円、白人小学校など六校で九件、金額にして十五万二千円の被害を受けました。

以上が町関係分の被害および被害額で、この総金額は二億三千三百九十三万三千円となっています。

なお、国関係分は一億二百五十万円、道関係分は河川二億五千万円、道々十八カ所三千万円の被害額となっております。

写真は道々幕別・大樹線、中里付近の欠壊場所

の聞だ
さんのおく
さをせ
皆声かさい

皆さんの苦情、要望、相談ごとをお聞かせ願う「町民の声を聞く車」広聴車が町内を巡回しています。

広聴車の巡回日程は特に決めませんが、部落、公区単位に巡回し、皆さんのご相談に応じるほか、特定の日の巡回を希望する部落、公区に出かけることも考えています



ので巡回を希望する部落、公区は、町民課広聴係まで、ご連絡ください。

なお、広聴車は写真でご覧のように、わかりやすい模様をデザインしておりますので、ご用の方は停めて、なんなりとお申し出ください。

皆さんの声をお聞かせ願う広聴車

秋はスポーツの季節 元気いっぱい熱戦を展開

秋はスポーツのシーズン。だが春以来の雨不足が一転して、このところ曇雨天つづきですが、それでも、スポーツ愛好者によってソフトボール、卓球、柔道、バレーボール等々が、ゆく秋をおしむかのように、町内各地で熱戦が展開されました。それぞれの成績は次の通りです。

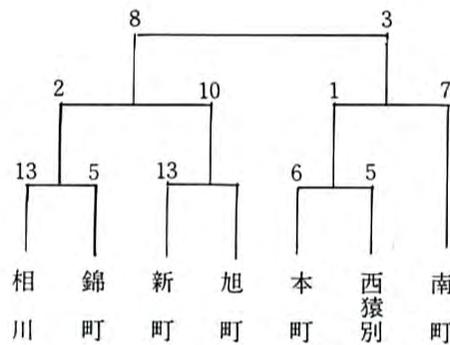
一位新町、二位南町

父母ソフト
ボール大会

教育委員長杯父母ソフトボール大会が九月十日に幕別中学校グラウンドで開催され、新町チームに凱歌があげられました。準優勝は南町

チーム。

なお、チーム編成は父親五名と母親五名の計十名。



写真は優勝した新町チーム

○柔道昇級審 ○査会合格者

町柔道連盟の第六回定例昇級審査会の合格者は次の通りです。

▼一級 柴田武、島田明広（以上幕高）

▼二級 山田定弘、柴田忠市、小田原尚哉、菅原盛之（以上幕高）、高橋茂樹、宮垣利文（以上幕中）、土井文明（古舞中）

▼三級 高野光弘（幕高）、宮垣正秀、平井正人（以上幕中）、岡誠二、栢本敏文、三井政浩（以上幕小）

▼四級 高橋真司（白人士）

▼五級 高橋昭浩（幕小）、久保英孝、中井浩志（以上古舞小）

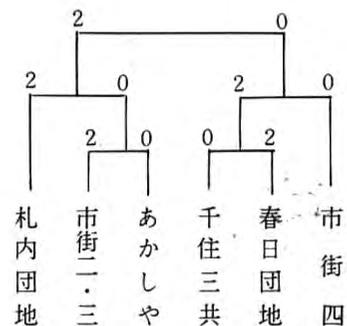
▼六級 宮垣直彦、木藤寿（以上幕小）、小川純文（西猿別小）

▼七級 尾形信治、三井俊一、

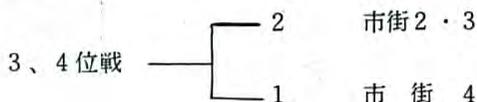
西幕別地区で女子

バレーボール大会

西幕別地区女子バレーボール大会が九月十七日に白人中学校体育館で開催されました。結果は優勝が札内団地チーム、準優勝は春日団地チーム、三位は市街二・三チームでした、成績は次の通り。



写真は優勝した札内団地の皆さん



久保孝弘（以上古舞小）

▼八級 三井英治、藤田靖

赤ちゃんクラブスポーツ大会

卓球一位は築地さん

ソフトボールは幕別Bチーム

赤ちゃんクラブのスポーツ大会が九月二十二日に青少年会館と幕別中学校グラウンドで開催されました。

日頃、育児に、家事に多忙な若きママさんも、この日は猛

写真は卓球で熱戦を展開する赤ちゃんクラブの皆さん



優勝は糠内第一

南幕の町長杯ソフト

南幕別地区町長杯ソフトボール大会が九月十三日に糠内中学校グ

優勝した糠内第一チーム



です。

(卓球)

一位 築地涼子(糠内) 二位

石川百合子(緑町) 三位 堀口

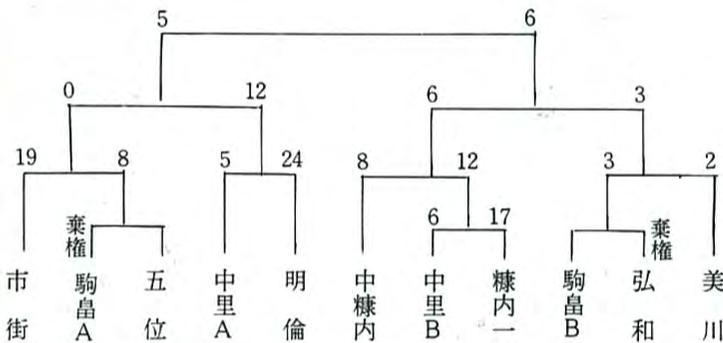
文子(緑町)

(ソフトボール)

一位 幕別B 二位 糠内 三

位 札内

ランドで開かれ、糠内第一チームが優勝しました。準優勝は明倫チーム。戦績は次の通りです。



西幕別の町長杯ソフトは春日チーム

西幕別地区町長杯ソフトボール大会は十一チームが参加して十月一日に白人中学校グラウンドで開催されました。

決勝戦は順調に勝ち進んできた春日チームと市街二の間で熱戦が展開され、攻守に一日の長があった春日チームに凱歌があがりました。

写真は賞状授与風景



駅伝競走の結果

第二回全町駅伝競走が九月二十四日に開かれ、中学の部は二十四*、一般の部は十二*間に健脚を競いました。結果は次の通りで、中学校の部は糠内中学校Aチーム、一般の部は町役場青年チームが、それぞれ優勝しました。

■中学校の部
優勝 糠内中学校Aチーム(一

時間三十一分二十三秒)

二位 幕別中学校Aチーム(一

時間三十五分十七秒)

三位 糠内中学校Bチーム

■一般の部

優勝 町役場青年チーム(四十

八分五十六秒)

二位 町教育委員会チーム

三位 幕別中学校教員チーム

中学校の部優勝の糠内中学校チーム(上)と一般の部優勝の町役場青年チーム



祝幕別町役場



式辞をのべる中島町長

庁舎落成を祝う

役場庁舎の落成式が10月9日に町民会館で、

町内外の方々多数の参列のもと開催されました。

まず、中島町長の式辞ののち工事報告があり、このあと施工業者などに感謝状を贈りました。また、参列者を代表して道知事(代)、美濃代議士らのお祝いの言葉があり式典を終え、記念祝賀パーティーでは作家の戸塚文子さんも出席するなど盛況でした。なお、庁舎落成を記念して各家庭に湯呑茶碗をお届けしました。



挨拶する戸塚文子さん



施工業者に感謝状を贈呈



式場を埋めた参列者



盛況だった祝賀パーティー



老眼鏡やうば車

幕別ライオンズ クラブで寄付

幕別ライオンズクラブでは、役場庁舎落成を記念して次のような品々を寄付、十月六日に中島町長に手渡しました。

▼町営乳牛育成牧場の絵

勝山海治作の油絵三十号

▼老眼鏡五個

役場を訪れるお年寄りに使っていただくため住民係窓口に備えてきました。ご自由にお使いください。

▼図書二十冊

一階ロビーの書棚に備えつけました。今後、毎月、新刊書を寄付していただくことになっています。貸出しはいたしません、ご自由にお読みください。

▼うば車三台

幼児づれのお母さん方に使っていただくため、一階エレベーター付近に置いてあります。幼児づれのお母さん方は、ご自由にお使いください。

なお、今回の寄付総額は五十万円相当で、中島町長も深く感謝しております。

写真は贈呈式の模様

昭和二十七年四月に発行された国語辞典には「公害」という項目はありませんが、現在は小学校低学年でも公害とは、どういふものであるか知っています。

私たちの围りをみますと公害の発生源は無数にあり、特に人体に影響をおよぼすものは強い規制処置がとられています。

さて、本町

公害監視員に山崎

二名おります

これら監視員は

には、道から

委嘱された公

害監視員が、

さんと川瀬さん

地域住民からの

連絡、または巡

視によつて公害発生源とみられる企業、事業所を発見したときは、町の公害担当係と協力して、問題を解決することになっています。公害問題でお困りの方は次の方々にご相談ください。

山崎 長一(緑町)
川瀬 卓雄(札内)

寒空に家や財産を失なわないようにしましょう

ストーブの近くが恋しいこの頃ですが、一方、火災が最も多く発生する季節となりました。

町消防団では、十月十五日に秋の連合消防演習を開催し、日頃の訓練の成果を町民の皆さんに披露しました。

しかし、幕別の消防が優秀で火災を初期に消火しても、水をかければ家の中はメチャメチャになります。寒空に家や財産を失うというこのくないよう、火の元には十分にご注意ください

▽石油ストーブでも年に一回は煙突の掃除をしましょう。

▽眼鏡石はコンクリート製にしましょう。火災発生の最大の原因となっています。

▽寝タバコは絶対によめましょう。

▽二階以上に老人、病人、女子どもは寝せないようにしましょう。

戸締りは完全に

行楽期に多発する侵入盗犯

秋は行楽のシーズンですが、例年、行楽期には侵入盗犯が多発するところから、道警では、この種事犯を防止するため「かぎかけ運動」の励行を呼びかけています。侵入犯の被害をうけた家庭のほとんどは「かぎ」をかけていない

個所、「かぎ」をかけた忘れた個所から…となっており、団地の多くなった本町内でも、春以来、そのような被害が発生しています。また、自転車の盗難、資材置場から、自転車の盗難が相次いでいます。自転車の盗難は、盗まれるのが当然と思

われるほど保管状態

車に初心者マークを

十月一日から道路交通法の改正

で、運転歴一年未満の方は、下の写真のように初心者マークを車の前後に付けなくてはならなくなり、今後、初心者の方でマークを付けていせんと罰金を徴収されますので、ご注意ください。



23回目の敬老会を開催

第二十三回目の敬老会が、九月十八日に町民会館で開かれました。まず、中島町長から「一年ぶりで皆さんとお会い出来て、こんな嬉しいことはありません。今後ともお元氣でお暮しく下さい」とあいさつ、このあと、ことし九十五歳を迎えた二名に記念品を、同じく米寿を迎えた十一名に記念品を贈り、長寿をお祝いました。

なお、当日、敬老会に参加したお年寄りは二百五十余名で、九十五歳を迎えた方、米寿を迎えた方および新たに敬老年金を授与された方は次の通りです。

九十五歳記念品贈呈者

桑谷チイ(あかしや)、帰山セキ(千住一)

写真は記念品を受けるお年寄り

米寿記念品贈呈者

中島カン(本町一)、山田常盤(本町三)、高木セイ(錦町一)、中村カネ(旭町)、山田勝治(宝町)、七島メヨ(明野南)、早乙女清四郎(相川南)、横田ヨ子(相川北)、平野茂五郎(明倫)、飯野つた(あかしや)、杉本こと(途別)

本年敬老年金証書授与者

久保鎮三郎、佐藤清松、田母上ハナ、川尻まつえ、乙川勇次郎、小野セキ、高橋直義、近石もと、木藤五市、森川ヤス、長尾薫、岡田クワ、島田コマキ、荒フク、久保ウタ、渡辺音吉、坂本栄一、寺岡ソヲ、三好久八、鎌田アサ、稲上穂英、篠原伝平、木下文一、川田乙作、山口伊平、粟野スエ、有田チヨ、杉本永吉、早瀬ふで、本保清作、難波美知太、高垣つぎ、亀山金市、楠タカノ、秋江孝、寺島チヨノ、福島セキ、稲葉嘉一、佐藤留五郎、中村ふよ、佐藤慶造、西田幸一、石川篤彦、松田志

さ。

